

12月ほけんだより



認定こども園あゆのさと
看護師 石黒治美
2018.12.1

あつという間に12月です。朝晩は冷え込むものの、日中はまだまだ暖かく、なかなか実感がわきませんが、今年も残すところ、あとひと月となりました。これから、年末年始にむけておでかけすることも増えてくると思いますが、感染症の流行る時期でもあります。マスクの着用や帰宅後の手洗い・うがいを忘れずに、体調に気をつけて、楽しく元気にお正月を迎えましょう。

今月は11月に行われた歯科検診や歯みがき教室(年中・年長)にちなみ、**歯**についてお話しします。

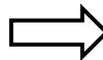
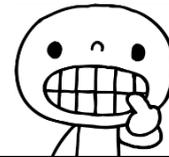
検診結果は個々にお知らせしました。全体的に虫歯保有者は少なく、歯もきれいに磨けていました。

～～ 歯科検診のときによくある質問をご紹介します ～～

Q.歯並びが気になります。矯正した方がいいですか？

歯並びに影響するものはいろいろですが、

- ・あごが狭く乳歯が隙間なく生えている場合には、乳歯より大きい永久歯がおさまりきれず歯並びに影響が出る事もあります。
- ・矯正治療は、永久歯に生え変わってから始めることが多いようですが、矯正のタイミングは人それぞれです。様子を見ながら、定期的に歯科受診するといいでしょう。



まずは、あごの発達をうながすために、“噛む”ことを意識しましょう。幼いころからかむ動作をたくさんすることで、あごの骨は強く丈夫になり、大きく育ちます。

Q.歯の色素沈着が気になります。歯磨きしてるのですが。

ご家庭でのブラッシングでは落ちない汚れもあります。歯科で処置してもらえると、色素沈着もとれます。ただし、口を開けて動かずに治療が受けられないと、むずかしいかもしれません。

～～ 歯みがき教室(11/16)で歯科衛生士さんと3つの約束をしました ～～

- ① 食べたらみがく
- ② 甘い物をだらだら食べない
- ③ お家の人に仕上げみがきをしてもらう

感染症の登園停止期間とは？

インフルエンザやプール熱、流行性角結膜炎など医師から“登園停止”を指示される感染症があります。園において流行を広げる可能性が高い疾病です。子どもの症状が落ち着き、元気があるけど「園に行けないから〇〇に遊びに(買い物に)行ってきた」なんてことはありませんか？

感染症は、症状が消失した状態で、体調が回復したようにみえても、ウイルスが排出されている可能性があるため、まわりの人に病気をうつし、流行をさらに広げてしまいます。登園しなければ、出掛けてもいいということではありません。感染症と診断されたら、必ず医師の指示に従って、十分に休養してください。

フッ素塗布のおしらせ

12月10日(月)9:30～

対象：1歳半健診後～3歳児(こすもす)
歯科衛生士さんが来園し、当園でフッ素塗布を行います。
当日までにフッ素塗布カードを提出してください。
必ず職員に手渡ししてください。
前回のフッ素塗布から3ヶ月経っていないと塗布できません。

くすりの預かりについて

寒くなり体調を崩す子が増え、薬の預かりも増えています。間違いを防ぐためにも、薬剤説明書を同封し、飲み薬と外用薬は袋を分け、透明のビニール袋に入れて職員に手渡ししてください。医療機関を受診したときには、こども園に通っていることを伝え、医師と内服の回数を相談していただくと助かります。